



新入生（手前）の前で、昨年夏のファッション甲子園の入選作品「嘘吐き。」（右端）などを披露した服飾デザイン科の生徒たち（埼玉県越谷市の県立越谷総合技術高校で）—秋山哲也撮影

デザイナーは高校生

音楽に合わせ、女子高生9人がステージを軽やかに歩きます。大きなリボンを頭につけ、ドット柄のワンピースを着たり、真っ白の衣装に身を包んだり。ステージ真ん中でポーズを決め、観客の視線を釘づけにしました。

埼玉県立越谷総合技術高校で4月13日に開かれた新入生歓迎会のミニファッションショー。衣装は、服飾デザイン科の生徒らが作り出した。同校は服飾デザインの日本一を競う「ファッション甲子園」の常連校。この日は昨年夏出品した作品「嘘吐き。」も登場しました。「うそで塗り固める」という言葉をヒントに重いつそや許されるうそなどを色や模様で表現

しました。デザインした3年の長谷川彩花さん(17)は「普通の人が思いつかない服ができた」と胸を張りました。同科では、自分で型紙を作り、縫い上げてファッション

10代が使いたいお金
ファッションが1位

◆10代が積極的にお金を使いたい費目

衣料・ファッション **54%**

趣味・レクリエーション **53**

人とのつきあい・交際費 **35**

※複数回答。野村総研「生活者1万人アンケート調査」(2015年)から

ショーで発表するまでを学びます。ジャケットやスカート、シャツも作るので就職活動や大学進学の際に、自分で作ったスーツを着ることもあります。長谷川さんは「日に日に服を作る技術が向上するのがうれしい。将来はファッション関係の仕事に就きたい」と意気込んでいます。

ファッションは若者にとって、関心の高い分野です。野村総合研究所の2015年の調査では、10代が積極的にお金を使いたいものは「衣料・ファッション」が54%で、1位でした。

最近では、洋服やバッグなどを選ぶ際、有名ブランドかどうかよりも、インターネット上などで評判になっているものや、友達から評価されるものを買いたいと思う若者が増えているようです。